

前を向いて一緒に頑張りましょう

病院長 西俣 寛人

高齢化社会です。今後さらに働き手である若い人達が少なくなり、少ない人達で高齢者を支える社会になります。働き手の減少で、税収は確実に減少していきます。

日本の医療制度は国民皆保険です。保険の4割が国民の税金です。現在の社会制度の中では医療費は減少していくでしょう。

一方科学の進歩に添って医療も大きく変化しつつあります。進歩した医療を保険で賄うことになれば、現在の皆保険制度は崩壊するでしょう。

新しい医療で有効性が認められれば先進医療に指定され、医療費は自己負担になります。事実上混合診療がおこなわれています。

混合診療が一般化し、自費診療がおこなわれるようになると、特定の診療は、社会的に評価された医療機関、特定の医師のもとに患者は集中し Only One化が急速に進むでしょう。今までの名声、実績だけではなく、新しい医療に対する実績、治療成績を公表し、社会的評価を得なければ、急性期医療をおこなうことは困難な時代になるでしょう。

医師一人一人が、どのような医療で社会的な評価を得たいと考えるのか、南風病院も全体としてどのような医療を目指すのかを決めて、全員で同じ方向を目指して努力する必要があると考えています。

社会が激変していく、このような時代を経験出来るのは自分の能力、適性を知る上でも楽しいことです。

人はそれぞれある能力と使命を与えられて生まれてきたのだと思っています。自分に与えられた能力を知り、その能力を使って人のために社会のためになるような人生を送りたいと考えています。

南風病院は670名（H22.4）の職員の職場です。

一人一人が自分の能力を信じ、社会の変化の方向を察知して、最善をつくせば、この社会になくってはならない医療機関として信頼される病院になれるものと確信しています。そのような病院で共に働けることを誇りにしたいと願っています。一緒に前を向いて頑張りましょう。

Nanpouh Hospital